



パワフルウーマンの矜持、 ここにあり！

情報通信エンジニアリング業界で活躍する女性社員座談会

(一社) 情報通信エンジニアリング協会

8月27日(木)、東京・渋谷の情報通信エンジニアリング協会本部へ、協会会員会社5社の女性社員に集まっていただき、情報通信エンジニアリング会社への入社動機や仕事のやりがい、仕事で影響を受けた方、働き方の工夫、今後の目標等について語っていただきました。

Q1. なぜ、情報通信エンジニアリングの世界を志したのか？

〈線路って電車じゃないよね〉

小野寺 この世界を志した理由としては、これといったビジョンがあったわけではなく、就職活動していくうちに、面白そうだなという観点から応募しました。2015年7月1日に合併してエクシオテックになったのですが、前身の池野通建に入社し

て、それから20何年ずっとやり続けているという感じです。入社してから、「わっ、すごいな」というのは確かに思ったのですが、線路だ、土木だと言われて、線路？ 線路ってなんだろうみたいな。電車じゃないよねと。より詳しく通信についての説明を聞き、こうして通信は動い

ているのだということが理解でき、面白いなと思うようになりました。いろいろあっても辞めずに頑張ってきたのは、そういう興味だったかなと思いますね。

〈携帯も全然通じない場所にネット環境を作ってくるよ〉

谷本 私の出身は香川県で、大学は高知大学ですが、すごい田舎という



座談会模様



小野寺 幸子 (おのでら さちこ)

(株)エクシオテック 土木事業本部 エンジニアリング部 首都圏センタに所属。

1993年 入社

現在、勤務地は練馬区北町の(株)エクシオテック東京テクノセンターで、NTT埼玉事業部様およびNTTインフラネット埼玉支店様から受注した地中設備の新設・撤去・補修工事等の主に設計業務を担当。



設計図作成のため、現場測量状況

か、85%くらい森林地帯で、山の中に入ると、もののけ姫が出てくるのではないかな？みたいなところですか(笑)。私は高知の人のあったかい人柄がとっても好きなのです。お世話になった人が山の中に住んで、農業をされていたのですが、ネット環境が全くなくて、携帯も全然通じなくて、黒電話の世界で、インターネット使うのに2時間かけて麓まで下りないと、自分のことを伝えられないところなんです。すごく不便で、「なんとかならないかな」というのをずっと聞いていて、「分かった。私が作ってくるよ」という感じで情報通信系の仕事を目指してきました。

〈停電した時にも電話がつながる仕組みを知ってる？〉

上原 私は、電気電子工学科なので、最初は機器設計分野の就職活動をしていたのですが、あまり興味が湧かず、その時に地元で情報通信関係の説明会があって話を聞いてみました。大学時代の研究はプログラミングをしていて、プログラミングは1人の戦いみたいところがあり、つまづくことも多くありました。も

し機器設計の分野に就職できたとしてもプログラムと同様に中身を知らないで設計をするのでは、つまづくことも多いのではないかという不安もあり、情報通信関係の仕事は現場を経験して技術を身につけられるという点に魅力を感じました。1次面接に行った時に、「停電した時にも電話がつながる仕組みを知ってる？」と問われて、「電話側にも電力設備があって、それがあって電力会社が停電しても電話がつながるのだよ」ということを伺った時に、すごいなと思いました。携帯電話等が手放せない時代なので、それを構築できることに感動しこの業界を志望しました。

〈光ファイバの接続(融着)が好き〉

添田 私は大学で通信工学を専攻していたのですが、実験の授業の中で、光ファイバの融着の実験がいちばん面白くて、こんなガラスの細い線が人と人をつなぐのだと思ったら楽しく、損失を測ったりして、「おーっ」みたいに大興奮しました(笑)。それがきっかけで希望して入ったのですが、**施工事務所での研**

修で実際に融着の接続とかやらせてもらった時は、とてもうれしかったです。ガイハジとかではなくて、融着が好きです(笑)。安易な感じですが、縁あって入社できました。

〈父も同じ業界〉

神谷 私は大学時代にマイクロ波とかの研究をしていたので、通信業界に興味を持っており、就職活動をする上で、「通信」というキーワードで打って検索していました。また、父も同じ業界で働いているので、父は何をやっているのだろうと気になって、説明会に参加してみて、面白いな、私もやってみたいと思って入社しました。

父には、面接を受けていることも全く伝えておらず、最終面接を受ける時に、「実は同じような業種を受けているのだよね」と話したら、まあ頑張れみたいな。大学時代から実家を離れてしまっているのでも、直接、父と話したことはないのですが、喜んでもらえているのではないかなとは思っています。



谷本 早貴代 (たにもと さきよ)
 (株)協和エクシオ NTT事業本部ネットワークエンジニアリング本部 ICTエンジニアリング部門の教育グループに所属。

2011年 入社

主な業務は新入社員向け研修の講師や研修準備、社員に対する資格取得の推進やフォロー、研修設備と備品の整備。SDN (Software Defined Networking) について学ぶ、新規事業の獲得に向けた技術企画グループにも携わる。



社内研修講師—ネットワークとは何か—

Q2. 入社前に持っていた業務イメージと入社後の業務内容は同じでしたか？ 異なるとしたら、どんな点が異なっていましたか。

〈システムのエラーチェックからQC発表会の司会者まで〉

小野寺 私が入社した時は、ちょうどバブルがはじけたばかりの就職難の時期でした。どこにも就職口がなくて、必死になって探して、あーよかったみたいな感じで入社しました (笑)。プログラミング、情報処理、SE系の専門学校に通っていたので、開発的な業務という話で入社したのですが、その当時は、単契の工程管理のタンクスというシステムのエラーチェックをやっていました。技術開発にいたので、他にはいろいろな開発物品のQC発表会で司会をしたり、学生の時にはこんなにさまざまなことをやることがあるとは思いませんでした。ただ1つプログラムをやっていればいいやというつもりで入ったのに、いろいろなことが目まぐるしく起こって、自分でもすごく成長した感じです (笑)。おじさま方の中に女の子1人で、そのおじさま方から、「これ打って」「はい、やって」「これやって」と指

示があり、それを1人でバタバタやっていたので、自分で頑張っていると思うようにして、モチベーション保って仕事していました。思っていたことよりいろいろなことを経験させていただきました。

〈自分の会社だけで完結しない業種〉

谷本 私は入社する前、エンジニアって1人で作業して何かを作り上げていくのだろうと、格好いいものだという漠然としたイメージしかありませんでした。実際入社して2年目からNTTコミュニケーションズさんの開発検証という形でサービスの方の開発検証に入りました。自分の会社だけで完結しない業種なのだなというところが、まず大きなイメージの差でしたね。そこで、3~4年ずっとやってきて、1人の力では通信というのは絶対に成り立たないのだなというのをすごく感じました。いろいろなところでいろいろな人が関わっていて、1人でここだけ開発したからといって、それでシステム

も通信も動くわけではなくて、土木の方々が地面を掘って通信のケーブルを通していき、電力系の人もいてくれて、機械を入れて運用保守の人がいて、全部つながってないと絶対に成り立たないのだなというのは大きな学びですね。周りの人とのつながりは大事だなと感じています。

〈危険な作業も多い電力現場〉

上原 現場経験をして力をつけたいという自分の希望があったので、私の場合は1カ月全体研修を受けたあと、現場の協力会社につき実際に施工を経験しました。ケーブルはこんな感じで引くのだよとか、端末はこうするのだよ、カッターで指を切らないでね、と教えてもらいながら力をつけるような育成で、入社前のイメージ通りでした。

いちばん驚いたのは、電力作業には危険な作業が多いことです。「活きたまま」と言うのですが、電圧がかかったままケーブルをつなぐという、危険な作業が多くて、緊迫感をもって臨んでいます。電源落としたらお客様の方に影響が出るので、1つひとつが大切な作業で工事を無事

終えたときの達成感はすごくあると感じました。

〈入社し2年が過ぎて見えてくるもの〉

添田 最初、私も全然想像できず、漠然としたイメージしかありませんでした。

私の会社は内定した後、内定者の集まりがあるのですが、そこでみんな不安な気持ちなどを話す機会があり、みんな同じ気持ちなのだと思いました。そこからのスタートですし、1から頑張っていくのだと思いました。当時、1カ月間は泊りで研修があり、同期社員とは団結力が深まって、お互いを励ましあう事で今まで頑張れたのではないかなと思います。入社後は、2年間の施工事務所での研修経験を積むことができ、穴を掘って電柱を建てたり、研修も1から行わせていただいたので、入社前には湧いていなかったイメージが、1から全部見えてよかったなと思っています。施工事務所の所長や工事長から安全や品質の大切さを教えていただきました。そこで、現場代理人*への憧れを抱きま

した。

〈電話工事とはどんなふうに行っているの〉

神谷 私は入社する前に、「工事」といってすぐに思いつくのは、道路工事や水道工事などで、電話工事とはどんなふうに行っているのか全然想像がつかないでした。説明会で聞いても、どう構築されているのか想像できず、気になっていました。入社してみて、実際の電話工事を見させていただいて、マンホールを囲っている様子とかは見た目道路工事などとあんまり変わらないので、日ごろ見ていた工事も、もしかしたら、あれは電話工事だったのかと思うようになり、入社してから街中歩いていて、バケット車使っている！

引き込みをやっている！というのを見るようになって、今まで電話工事について全然知らなかったのだなということに気づきました。

入社する前から男性社会だというのは聞いていたため、女性が少ない業界だというのは理解していましたが、数名は在籍しているのだろーと思っていました。社内研修期間は男性社員に指導いただくことが多かったため、1日男性としかしゃべっていない日もありました。帰りにふらっと寄ったコンビニの店員さんが女性で、その時しか女性と話していないと思うこともありました。

*現場代理人とは…注文者との請負契約において、受注者としての立場の請負人の契約の定めに基づく法律行為を、請負人に代わって行使する権限を授与された者

Q3. 仕事のやりがいをどのような時に感じますか。

〈女性が誰もやったことがないことを私はやってみたい〉

小野寺 土木に配属にはなったのですが、エクシオテックの女性はほぼ事務という感じでした。だから、事務全般を行いながら、工事長から言

われたものを作るところから始めて、その一貫でだんだん業務を広げ、現在、土木の設計も行うようになりました。仕事については自分で勝ち取ってきた感が私は強いです。自分で工事長に「これをやらせてく



電力室にて手順書作成の現場調査

上原 実結 (うえはら みゆ)
日本コムシス(株) NTT事業本部 ネットワークシステム部 首都圏ネットワーク事業部門 電力担当に所属。
2013年 入社
事業所は、神奈川県NTTコミュニケーションズ横浜山下ビルにあり、神奈川全域の工事を工事長の補助者として従事しております。仕事内容は、現場調査・搬入調整・危険工程時の手順書作成・竣工書類等さまざまなことに携わっている。

ださい」「あれをやらせてください」、「図面、書かせてください」と言ってやってきたので、それがやりがいです。女性が誰もやったことがないことを私はやってみたい、みんなやってないことをやるというモチベーションで頑張っているかなというのがあります。私は先駆けみたいで、みな一番だったみたいでした。産休取ったのも一番だし（笑）。なんでも初めてづくしな感じで頑張ってこられたのがよかったかなと、今につながっているのかなとは思いませんね。

〈「お前だから、いいよ、やらせてやるよ」のひとこと〉

小野寺 女の子1人だからかわいがってもらえたというのが、私自身が仕事に対するモチベーションを保てた要因の1つだと思います。回りの方がすごくいい人たちばかりだったというのは、感謝しても感謝しきれない感じですね。「お前だから、いいよ、やらせてやるよ」とか言ってもらえると、「頑張ります」という感じでした。別の部署に異動後も経理事務やOPA等

いろいろ経験させてもらいながら、技術職を目指して2級土木施工管理技士を頑張って取得し、今度は首都圏の土木部門へ配属になって、設計業務に携われることになりました。

〈3000ページのマニュアルを読み込んで自ら検証し、実際に使われた時のうれしさ〉

谷本 私の場合は、開発検証で機械室の中でずっとパソコンに向かっています。そういう機器を商用に入れることになる直前は、深夜まで検証して、設備が入って実際に商用で動いているよというのを聞いた時は、いちばんうれしいですね。使ってもらえているのだなというのが、大きいやりがいですね。日々の中で「これ、谷本さんお願いするよ」とか、任せてもらえるというのがすごくうれしいです。自分の力が認められているなというのを感じます。打ち合わせから入って、ここはこういう運用だから、この辺の仕様を変えてくださいとか、全部で1000～3000ページのマニュアルを読み込んで、検証項目はどういうことを見ないといけないのかを考え、検証計

画を立てていくのです。絶対にここだけは外せないとか、これが起きると商用で瞬間が発生してお客様の通信が止まるといったことがないように、実際にやって結果を出して、もしバグがあればベンダーさんに連絡して直してもらおうということの繰り返しです。

〈最終動作確認で無事に切り替わった時〉

上原 私はお客様の負荷設備の前段階である電源を送るための設備を作っています。普通のビルであれば、停電した時にエンジン回路が回り、停電時も電気が使えるというような設備です。また、エンジンに切り替わるためにも1分ぐらいは必ず停電してしまいます。重要な設備には携帯のバッテリーのようなバッテリーがあり、その間はそれが電源を供給します。設計図面をもらって細かい配線を作り、協力会社が施工し、最後に確認試験を行います。無事動作を確認し終えたとき、まだ少ししか携われてないですがすごくやりがいを感じます。



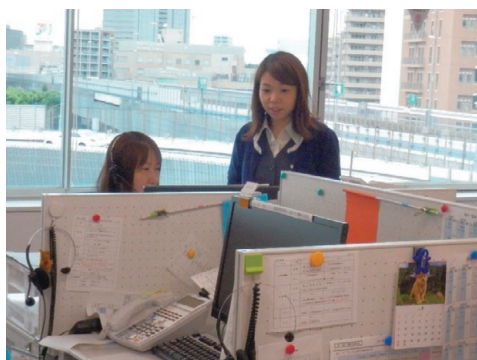
添田 さとみ (そえだ さとみ)

(株)ミライト NTT事業本部 アクセス事業部 事業企画部門に所属。

2007年 入社

NTTサービス総合工事ユーザ工事の竣工処理を実施するコールセンタのマネジメント業務。

全体約20名程の女性の多い職場。施工事業所20センタやシステム担当との連携を計りながら、オペレータが質問しやすい内容を考えたり働きやすい環境づくりを行っている。



オペレータへ追加のルール内容を説明

〈10年間の育成プログラムがあります〉

上原 私の部署には10年間の育成プログラムがあります。1年間は現場中心で、現場を覚え、2～3年は周りに行って、いろいろな小さい工事のことを覚え、10年ぐらいで工事長を目指すような育成プランです。大まかなビジョンの提示があり、すごくいいプログラムだと感じています。まだまだ分からないことも多いのですがそのプログラムに沿って成長できるよう頑張りたいと思っています。

〈現場の工事長に感謝され、オペレータに仕事しやすいコールセンターが構築できた時〉

添田 私は施工班向けのコールセンターにいますが、施工班からの聞き取り（質問することによってシステムで竣工出来高ができるようにする業務）を担当しており、センターからの要望を反映し、それを施工班も言いやすく、オペレータも質問ができるようなシステムを、自分の頭で考えて、やってみて、それが成功した時や工事長に感謝されたりしたときがいちばんやりがいに感じますね。クレーム等含めて折り合いをつけながら、施工班あつてのセンターなので、要望をしっかり聞いて、いちばんいい形にしたいと思って取り組んでいます。工事センター、オペレータ、システム担当、いろいろなところと連携をしながら業務を進めているということで連絡取り合って、いちばんいい形に持って行くのが仕事ですかね。

〈1人で車運転して5件、6件現場調査し、事務所に帰ってきた時の安心感・達成感〉

神谷 私は研修中という立場で、これやって、あれやってと言われるこ

とが多いです。サービス総合工事の設計をしています、「これ、1人で行ってみようか」とか、「1人で現場調査行ってみようか」と言われると、任せられているのだと責任を感じます。1人で車運転して、現場を5件、6件見て来て、事務所に帰りついた時に、まずほっと、安心感を感じます。さらに、設計図面を書いていった後に、1つの案件を、1

つ自分でやりあげて提出した時に、やりがいを感じます。自分が書いた図面が実際に施工されたところに行ったら、ここの設備は自分でやった設備だなと思えるところがすごくいいなと思いますし、後輩ができ、自分に子どもができた時に、ここ私が構築したのだよと言えることに、たいへんやりがいを感じます。

Q4. 仕事で影響を受けた人について教えてください。

〈厳しく指導してくれる工事長〉

小野寺 いちばん影響を受けたのは工事長です。千葉土木に所属していた時の上司で、工事長の下で、怒られながら教えてもらいました。「なんだ お前、こんなこともできないのか」とまで言われて、かなり厳しい方でした。電話のとり方から何かから、「お前、甘い」とか怒られたし、苦情の電話に出た時に、「なんでお前、そんなに舞い上がるのだ」ということも、言われたのですが、苦痛にはならなかったですね。その人に認めてもらうまで頑張ろうという感覚でした。今、自分で、小野寺ですと言って設計成果品をインフラネット様に提出できるのは、その方の指導があったからかなというのはずっと思っています。よく見てくれて、こっちでテンパっている時は、俺もこれやるからという感じで手伝ってくれましたが、任されたことは最後までという気持ちはその時に育ったと思いますね。

〈「一緒に作っていきましょうよ」と言ってくれた上司〉

谷本 私の場合、客先で出会った方の言葉が一番影響を受けたと思います。私は2年目からお客様のところに派遣されて、いろいろな人と仕事しています。派遣された立場で、ど

うしても弱い側かなと自分で勝手に思い込んでいたのですが、周りの人は、一緒に作っていきましょうという感じで対等に見ていただき、「派遣とかキャリアとか、いろいろな立場の人はいるけど、上司とかに何か言われても自分の意見を貫き通せばいいんやで」と言ってくれた上の人がいて、自分のやりたいようにやっていたのだなということで、意識が変わりました。いきなり社内ではなくて社外でということで、吐きそうなくらい（笑）ものすごく最初は緊張しましたが、対等に見てくれていたのかなと思います、今となってはありがたい話だなと思っています。

〈関わってきた工事長たち〉

上原 これまで3回工事長が変わりましたがそれぞれに影響を受けていると思います。また、よくいろいろな工事長を見て、いいところを取って、自分のやり方を作ればいいのだよと言われていています。例えば今の工事長は社員・協力会社・お客様等とのコミュニケーションをととても大切に考えていてすごく見習いたい点だなと感じています。すこしずつ自分の理想のイメージができてきたので、それに向かって頑張りたいなと思っています。



神谷 貴子 (かみや たかこ)
(株)ミライト・テクノロジーズ NTT事業本部 東日本事業部 アクセス部エンジニアリンググループに所属
2014年 入社
現在は大宮技術センタにて一般工事の設計業務の研修中。
マンションタイプの光の設計や純撤去工事を中心に先輩方から教わりながら設計業務に従事。



九都県市合同防災訓練における
光ケーブル接続復旧訓練

〈自分の意思をぶれずに言える1年上の先輩〉

添田 私が仕事で影響を受けた人は、1年上の女性の先輩です。例えば、上司に対して自分の意思とかは言いづらい場合も、それをぶれることなくおっしゃっています。私は流されちゃうので、言われると、ハッとになって言い返せない時があるのですが、その先輩は、自分の意思をちゃんと貫いて、ぶれずに言えるというのはすごいな、と思いました。さらに、女性らしい気遣いとか、やさしさとかがすごくあるので、そういう先輩に私もなれたらなと思います。

〈メンター制度での面倒見のよい先輩〉

神谷 こうなりたいなという先輩が何名かいらっしゃいます。私の会社

ではメンター制度といって、入社してすぐの時から、新人1人につき先輩が1人ついて、業務以外での面倒見を見てくれる制度です。制度としては1年間なのですが、終了しても相談に乗ってもらったり支えてもらっています。入社して3カ月後ぐらいに配属が決まった時には、長文のメールで温かいアドバイスを沢山いただきました。その時はぼろぼろと泣きながらメールを読んでいます。すごく面倒見のいい先輩で、会う機会はあまりないのですが、携帯、LINEで「最近どう?」と聞いてくれてサポートしていただいております。私もいろいろな人にアドバイスできるような温かい先輩になりたいと思っています。

小野寺 家庭は、主人の母がすぐそばに住んでいたのので、みな母に任せきりです。家庭と両立はしてなかったかもしれないですね。仕事ばかりな感じだと、家族はたぶん思っていると思います(笑)。

ただ、職場では男性ばかりなので、潤滑油になっている感じなのか。男の方は、システム系が苦手というか、社内システムが増えてくると、「分かんない」になってしまうことが多いので、困っているなど思うと、「どうしたの?」と聞いてサポートしています。

谷本 私自身の仕事として、いまの仕事が研修担当で、新人に教えているのです。その中で、女性の目線と男性の目線というのは結構違うところがあるなど感じ、後輩の子や上の方々との会話の中で、言い方を変えています。女性の場合だったら、自分がやりがいを持ったりする時にいちばん力を発揮することが多いと思うので、その人が頑張っている過程を褒めて、こうした方がいいのじゃないとフォローしてあげると伸びま

Q5. 働き方について、女性ならではの工夫をされていますか。

司会 働き方について、女性ならではの工夫をされていますか。例えば、プライベートと仕事を両立するための工夫や、早く帰りたい時には、早めに来て仕事の優先順位を考

えて仕事をするとか、工夫されていることについてお伺いします。子育てされている間は、時間の管理が大変だったのではないですか。

す。私みたいに1人でポーンと放り投げられ、寂しい思いをしている後輩には、メール等で近況を聞いてみたりすると、「いまモチベーション下がっていたのですが、アドバイスをもらえてやる気が上がりました」と言ってくれるのは、うれしいです。男性の上司の方も、そういうところを見てくれるといいなと思う時はあります。

上原 私は女性だからということはある程度なくて、過去の工事の資料の中から似たような工事の資料を探すのに時間がかかっていたので、自分が関わった工事については、似た工事の資料がすぐ探し出せるように、分かりやすくフォルダごとに仕分けをして置いています。今回搬入するのであれば搬入の重量がいくら表とかがすぐ出せるようにとか、材料の表がどこにあるかとかすぐ引き出せるようにしています。

〈自分の中で無駄がないように取り組む〉

添田 私は子どもが2人いまして、まだ小さいので、なるべく残業はしないように、朝、事務所についたらすぐ何をするか決めて、なるべく早く終わらせられるよう動くようにしています。どうしても急ぎよ、夕方に問題等が発生してしまったときには残業せざるを得ないこともあります。自分の中で無駄がないよう取り組むように心がけています。

〈家族や職場の理解〉

添田 なかなか、5時や5時半で帰るのは大変ですが、自分の母親が

フォロー、サポートしてくれるので、安心して仕事させてもらっています。子どもが待っているのも、なるべく残業はしないようにしています。また、職場の上司やオペレータの方々にも子供の体調不良時には気遣って下さったりと、良い職場に恵まれています。

神谷 事務所で、書類や図面の整理整頓を日ごろから心掛けており、それが女性ならではの1つの工夫かなと思います。事務所に入ったときに、散らかっているよりはきれいな方が気持ちいいと思うので、なるべく心がけています。

Q6. これからの目標について、教えてください。

〈土木の監理技術者を目指しています〉

小野寺 現在、1級の土木施工管理技士の資格を取ることを目標にしています。落ちてばかりなので、今度こそはと思っているのです。監理技術者になれば、工事にも従事できると思っています。いま監理技術

者が足りない状況なので、取得できれば仕事の受注も増えてくると思います。1級ですと、点数にも反映されるので、1点でも多ければ会社への貢献ができると思っています。

〈エンジニアになるための試練〉

谷本 これからの目標なのですが、



本井傳 伸栄 (ほんいでん のぶえ)

情報通信エンジニアリング協会 東日本研修センター アクセス部門に所属
2006年 入社

情報通信エンジニアリング協会 女性初のインストラクター。

(株)ミライトから今年3月より情報通信エンジニアリング協会に出向。

いろいろな会社の方々と触れる機会やさまざまな業務を経験させていただけるため
発見や驚き、チャレンジの毎日。



公開講座インストラクター
光ファイバの仕組みについて説明模様

私はネットワーク系のエンジニアなので、ネットワークスペシャリストを10月に受けようと思っています。10月から職場環境が変わり、客先のほうに出ることになっています。今度は、8人くらいの大所帯で、先輩の下についてやれるという形なのですが、かなり忙しいようです。上司からは、入社から10年たつ前に、1度相当ものすごく忙しいところで大変な思いを経験しておかないと、この先エンジニアとしてやっていけないからと言われました。そういうチャンスを与えていただいたと思っているので、1度飛び込んでみようかなということで、新しいところで頑張りたいと思います。

〈工事長を目指しています〉

上原 目標としては、現場で小さい工事を任されて、全部一通りやってみたいという希望があり、最終的には色々な工事を任せられてもらえたらと思っています。

〈目指すは現場代理人〉

添田 直近の目標は各施工事務所のサポート業務に携わっているため、マネジメントとしてはオペレータのマルチスキル者を育成し、効率化や施工事務所の負担軽減につなげていきたい。また、現在は6歳と3歳の子供がおり、まだまだ手がかかる年頃だと思っています。

子育ては“一時的”にとらえ子育

てと仕事の比重を変化させながら今後は設計や積算の経験を経て「現場代理人」を目指していきたい。

〈「これだから女の人はダメなんだよ」という言葉を絶対に言われたくない〉

神谷 私は今、同じアクセス部に配属された同期の男性と同じように研修をしています。聞けるのは今のうちだと思うので、1つでも自分の身になるように吸収して、自分がもし工事長や管理者の立場になった時に、「これだから女の人はダメなんだよ」という言葉を絶対に言われたくないので、男性に負けないように頑張るのが目標です。



盛りだくさんの話題に花が咲きました